

京都市市民生活実感調査

あなたの感じ方を、京都市の取組に生かします。

平成18年5月 京都市

【調査ご協力のお願い】

皆様におかれましては、日ごろから市政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

このアンケート調査は、市民の皆様の感じ方から政策、施策を評価し、今後の市政運営に役立てるために、**市内にお住まいの方の中から無作為に選んだ20歳以上の3,000人の方々に**アンケートへの記入をお願いするものです。

今回あなたに**お答えいただいた内容は、統計的に処理いたしますので、ご迷惑をおかけすることは一切ありません。**

何かとご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

【アンケート調査の目的】

このアンケート調査は、京都市が取組を進めている様々な分野において、市民の皆様がどのような実感をお持ちなのか、また何を重要と感じておられるのかについて調査することを目的としています。

皆様からいただいた回答を集計、分析し、その結果を市の政策評価（※）や市の仕事を効果的に進めるための重要な情報として活用していきます。

※政策評価＝政策の目的がどの程度達成されているかを評価し、市民の皆様にお示しするとともに、次の政策、施策の展開に役立てるもの

【調査票のご回答にあたって】

アンケート調査票にご記入いただき、同封の封筒に入れ、郵便にてご返送ください（切手は不要です）。

アンケート調査票、返信用封筒などには、お名前や住所を記入していただく必要はありません。

5月31日（水）までに、投函をお願いいたします。

【記入上の注意】

- アンケート調査をお願いしたご本人（封筒の宛先となっている方）がお答えください。
- 直接調査票に記入してください。

【記入方法】

- お尋ねする内容は「施策ごとの生活実感」と「政策重要度」に分かれています。
- 「施策ごとの生活実感」（４ページから９ページ）
 - ・調査票には、京都市の行政活動の目標である施策と、それに関連した質問が書かれています。
 - ・質問ごとに、あなたの実感やイメージに基づき、５つの選択肢（そう思う、どちらかというと思う、どちらとも言えない、どちらかというと思わない、そう思わない）の中から１つ選んで○を付けてください。
 - ・質問の内容が**分からない場合は、空欄のままにしてください。**
 - ・**３ページに記入例をつけていますので、ご参照ください。**
- 「政策重要度」（１０ページ）
 - 重要と思われる政策について、５つまで選んで○を付けてください。

【この調査に関するお問い合わせは】

〒６０４－８５７１ 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町４８８番地
京都市総合企画局政策推進室政策企画課 「京都市市民生活実感調査アンケート係」
電話 ０７５－２２２－３０３５ FAX ０７５－２１２－２９０２
ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/sogo/seisaku/hyoka/hyoka.html>

記入例

施策ごとの生活実感

京都市の行政活動の
目標です。

実感やイメージでお答
えください。

分からない場合は何も印をし
ていただかなくて結構です。

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか というと そう思う	どちらとも 言えない	どちらか というと そう 思わない	そう 思わない
男女がともに自立，参画，創造する 男女共同参画社会の実現	Q 1. 男女が個人として尊重され，共に個性や能力を発揮できる 社会になってきている。	a	b	c	d	⑤
高齢者の人権の尊重	Q 2. 高齢者の知識や経験が尊重され，権利が守られている社会 である。	a	⑥	c	d	e
特別施策としての同和対策事業の 終結とその後の取組	Q 3. 生まれや生い立ちに関係なく，すべての人がいきいきと暮 らせる社会になってきている。	a	b	⑦	d	e
現代社会における多様な人権問題 への対応	Q 4. HIV感染者やハンセン病患者，刑を終えて出所した人， ホームレスなど，現代社会の様々な人権問題について，市 民の正しい理解と認識は高まっている。	a	b	c	⑧	e
高齢者や障害のあるひとが積極的 に社会参加できる機会の提供	Q 5. 高齢者や障害のあるひとが社会参加できる機会が十分あ る。	⑨	b	c	d	e
だれもがいきいきと働けるまちづ くり	Q 6. だれもがいきいきと働ける場を得る機会がある。	a	⑥	c	d	e
子どもたちの社会性を高める教育 の推進	Q 7. ボランティア活動などで，子どもの社会性が高まっている。	a	b	⑦	d	e
教職員の能力・意識の向上	Q 8. 学校の先生は熱心に取り組んでいる。	a	b	c	⑧	e

施策ごとの生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
男女がともに自立，参画，創造する 男女共同参画社会の実現	Q 1. 男女が個人として尊重され，共に個性や能力を発揮できる 社会になってきている。	a	b	c	d	e
高齢者の人権の尊重	Q 2. 高齢者の知識や経験が尊重され，権利が守られている社会 である。	a	b	c	d	e
特別施策としての同和対策事業の 終結とその後の取組	Q 3. 生まれや生い立ちに関係なく，すべての人がいきいきと暮 らせる社会になってきている。	a	b	c	d	e
現代社会における多様な人権問題 への対応	Q 4. HIV感染者やハンセン病患者，刑を終えて出所した人， ホームレスなど，現代社会の様々な人権問題について，市 民の正しい理解と認識は高まっている。	a	b	c	d	e
高齢者や障害のあるひとが積極的 に社会参加できる機会の提供	Q 5. 高齢者や障害のあるひとが社会参加できる機会が十分あ る。	a	b	c	d	e
だれもがいきいきと働けるまちづ くり	Q 6. だれもがいきいきと働ける場を得る機会がある。	a	b	c	d	e
子どもたちの社会性を高める教育 の推進	Q 7. 公共心の育成や奉仕・体験活動など学校・家庭・地域が協 力して子どもの社会性を高める教育に取り組んでいる。	a	b	c	d	e
教職員の能力・意識の向上	Q 8. 学校の先生は熱心に取り組んでいる。	a	b	c	d	e

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
住み慣れた地域のなかで支え合い 安心してらせるしくみづくり	Q 9. 万が一のことがあっても地域で支えあう仕組みがあるので、安心である。	a	b	c	d	e
障害のあるひととその家族を支える サービスの充実	Q 10. 障害のあるひとやその家族を支えるサービスが充実している。	a	b	c	d	e
安心して子育てができる保育サー ビス等の提供	Q 11. 子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している。	a	b	c	d	e
子育ての支援を求める家庭への応 援体制の構築	Q 12. 子育てに不安を感じたときに気軽に相談できるところがあるので、心強い。	a	b	c	d	e
市民ひとりひとりの健康の増進	Q 13. 正しい情報を基に、健康づくりに取り組む人が増えている。	a	b	c	d	e
保健医療施策の計画的な推進						
保健医療サービスを支える体制の 整備	Q 14. 利用しやすく頼れる医療や検査などの機関がある。	a	b	c	d	e
生活衛生の推進	Q 15. 保健所などによる業者への監視や指導があるので、食品や住まいの衛生などに不安を感じることはない。	a	b	c	d	e
「京（みやこ）のアジェンダ21フ ォーラム」を核とした環境問題への 取組	Q 16. 省エネや省資源に取り組むお店や買い物客、公共交通機関を利用する人が増えている。	a	b	c	d	e

施策ごとの生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか というと そう思う	どちらとも 言えない	どちらか というと そう 思わない	そう 思わない
廃棄物を出さない循環型社会の構築	Q 1 7. ごみの減量, 分別収集や集団回収などに取り組む人が増えている。	a	b	c	d	e
災害から身を守る知恵や力をつける災害に強いひとづくり	Q 1 8. 防災情報, 防災訓練などによって, 災害から身を守る知識が備わってきた。	a	b	c	d	e
犯罪や事故のない安全なまちづくり	Q 1 9. 自治会などの事故や犯罪を防ぐ取組により, 安心して暮らせるまちである。	a	b	c	d	e
歩く魅力のあるまちづくり	Q 2 0. 京都市は, まちの美しさや賑わいなどにより, 歩いて楽しいまちである。	a	b	c	d	e
歩くまちを支える公共交通の充実	Q 2 1. まちなかの移動にはバスや鉄道が便利である。	a	b	c	d	e
市民, 事業者と一体となったまちの美化の推進	Q 2 2. まちに散乱ごみが少なくなってきた。	a	b	c	d	e
水と緑を生かしたまちづくり	Q 2 3. 京都は水と緑をうまく生かしたまちである。	a	b	c	d	e
文化の創造・発信に向けた総合的な取組の推進	Q 2 4. 京都では文化・芸術活動が盛んである。	a	b	c	d	e
多彩な芸術文化交流の推進						

施策ごとの生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
芸術文化の新たな担い手の育成	Q25. 京都では多くの若い芸術家が育っている。	a	b	c	d	e
文化財保護の推進	Q26. 京都では文化財に親しむ機会が多い。	a	b	c	d	e
多彩な国際交流の推進	Q27. 京都では市民レベルでの様々な国際交流が盛んである。	a	b	c	d	e
京都の特性を生かした国際協力の推進						
多彩な学習機会の確保・提供	Q28. 大学や神社仏閣、博物館など京都ならではの様々な学習機会に恵まれている。	a	b	c	d	e
新たな学習支援のしくみづくり						
世代を越えてともに学ぶ地域づくり	Q29. 学校や地域での取組など、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	a	b	c	d	e
活力ある産業活動への支援	Q30. 京都はものづくりが活発に行われている。	a	b	c	d	e
市民に身近で環境にやさしい都市農林業の育成	Q31. 京野菜や北山杉など、京都の農林業は魅力的である。	a	b	c	d	e
観光情報の受発信と観光客誘致の強化	Q32. 京都は様々な方法で観光客をうまく呼んでいる。	a	b	c	d	e

施策ごとの生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
コンベンション誘致の強化	Q33. 京都は国際会議などが盛んに開かれる都市である。	a	b	c	d	e
個性豊かな大学の集積を生かした 交流の場づくり	Q34. 京都は、大学間の交流が盛んであるなど、「大学のまち」 として魅力がある。	a	b	c	d	e
地域に開かれた大学づくりの促進	Q35. 市民向け公開講座や地域との交流など、大学が身近に感 じられる。	a	b	c	d	e
大学・学術研究機関の振興	Q36. 京都にある大学や学術研究機関は多くの人材を育成した り研究成果をあげたりしている。	a	b	c	d	e
若者の活動拠点の整備と社会参 加・自主的活動の支援	Q37. 若者が活動する場や情報が十分提供されている。	a	b	c	d	e
多彩で個性的な機能をもつ地域のま ちづくり	Q38. 鉄道駅の周辺や商店街が賑わっている。	a	b	c	d	e
都市内の交通網の整備	Q39. 市内の道路は安全・快適である。	a	b	c	d	e
歩くまちにふさわしい道路網の整備						
広域交通網の充実	Q40. 京都は交通網が充実しているので、外国や国内各地との 行き来がしやすいまちだ。	a	b	c	d	e
デジタルアーカイブの推進	Q41. デジタル化により美術品や歴史的資料が文化や産業に生 かされている。	a	b	c	d	e

※デジタルアーカイブ 文化・学術・産業等、さまざまな「財」をデジタル技術で蓄積し、あらゆるひとが自由に利用できる環境を整えること。その対象は、絵画や美術工芸品から伝統産業や芸術を支える技術まで多岐にわたる。

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか というと そう思う	どちらとも 言えない	どちらか というと そう 思わない	そう 思わない
観光化による高度情報化の推進	Q42. 市内の観光情報がインターネットに掲載されているので、便利である。	a	b	c	d	e
情報教育の充実	Q43. 子どもたちに対して、時代に合った情報教育ができています。	a	b	c	d	e
行政の高度情報化の推進	Q44. 市役所や区役所のＩＴ化が進み、公共サービスが便利になった。	a	b	c	d	e
市民との対話による双方向性の確保	Q45. 市の職員と市政に関する意見交換が気軽にできる。	a	b	c	d	e
市民が政策形成に参画できるしくみづくり	Q46. 市の計画や条例に対する意見募集や委員公募など、企画段階から市民が意見を言う機会が十分ある。	a	b	c	d	e
市民との協働による政策の推進	Q47. 多様な事業やイベントなどにおいて、市民や行政が力を合わせて取り組む機会が十分ある。	a	b	c	d	e
市民とともに行う評価のしくみづくり	Q48. このアンケートなど、市民が市の仕事を評価する仕組みが整っている。	a	b	c	d	e
魅力ある地域づくりの拠点としての区役所機能の強化	Q49. 身近な暮らしの相談ができるなど、区役所は頼りになる。	a	b	c	d	e
新市庁舎の整備	Q50. 新市庁舎ができることで、市役所が、市民に開かれたすべての人にやさしい施設になることが期待できる。	a	b	c	d	e

政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

この中で、あなたにとって今、特に大切と思われる分野について、**5つまで選んで**「○欄」に○を付けてください。

分野・政策名		○欄	分野・政策名		○欄
1	人権文化 [ひとりひとりが個人として厚く尊重される]		15	生涯学習 [生涯にわたってみずからを磨き高める]	
2	住環境 [すべてのひとがいいきいと活動する]		16	産業 [産業連関都市として独自の産業システムをもつ]	
3	しごと [すべてのひとがいいきいと活動する]		17	観光 [魅力ある観光を創造する]	
4	学校教育 [子どもたちが心豊かで社会性を身につけみずからの生き方を学ぶ]		18	大学 [大学の集積・交流が新たな活力を生み出す]	
5	福祉 [すべてのひとが相互に支え合い安心してくらす]		19	青少年 [若者が集い能力を発揮する]	
6	子育て [子どもを安心して産み育てる]		20	個性と魅力あるまちづくり [個性と魅力あるまちづくり]	
7	健康（保健・医療、スポーツ） [心身ともに健やかにくらす]		21	交通基盤 [多様な都市活動を支える交通基盤づくり]	
8	環境 [環境への負担の少ない持続可能なまちをつくる]		22	高度情報化 [高度情報通信社会に対応できる基盤づくり]	
9	消防・防災 [災害に強く日々のくらしの場を安全にする]		23	情報公開 [情報を市民と共有する]	
10	生活安全（犯罪・事故、消費生活） [日常生活における身近な安全や安心を確保する]		24	市民参加 [市民の知恵や創造性を生かした政策を形成する]	
11	歩いて楽しいまちづくり [歩いて楽しいまちをつくる]		25	市政改革 [市民とともに政策を実施する]	
12	美しいまちづくり [美しいまちをつくる]		26	行政評価 [市民とともに政策を評価して市政運営に生かす]	
13	文化 [成熟した文化が実現する]		27	区役所を拠点とする地域づくり [個性を生かした魅力ある地域づくりを進める]	
14	国際交流 [国内外との多彩な交流を行う]				

※ []は、京都市基本計画の政策項目です。

① 性 別													
1. 男					2. 女								
② 年 齢													
1. 20 歳代		2. 30 歳代		3. 40 歳代		4. 50 歳代		5. 60 歳代		6. 70 歳代		7. 80 歳以上	
③ 職 業													
1. 自営業・自由業			2. 会社員・公務員等給与所得者			3. 主婦・主夫							
4. 学生			5. 無職			6. その他（				）			
④ 居住区													
1. 北区		2. 上京区		3. 左京区		4. 中京区		5. 東山区		6. 山科区			
7. 下京区		8. 南区		9. 右京区		10. 西京区		11. 伏見区					
⑤ 京都市での居住年数													
1. 5年未満			2. 5～11年未満			3. 11～31年未満			4. 31年以上				

-11-